

《学校近況報告》

新型コロナウイルスの影響は受けつつも、工夫しながら様々な活動を展開しています。



「タテシナソン」は立科町の事業者が抱える課題を学生達のアイデアで解決しようと、五年前から行われているイベントです。本校生も学校で五月に説明会を行って以来、高校生スタッフとして運営に関わってきました。今年のテーマは町特産「蓼科牛」の売り上げをあげるにはどうしたらいいか。当日高校生スタッフの二年生はインスタに写真をあげたり三年生はGyrfokの動画を作成したり運営面でお手伝いをしてきました。閉ソソ式では、高校生スタッフにも会場から惜しみない拍手が送られました。地域の課題解決、未来の地域創生に向けて、とても刺激的ない勉強の機会をいただきました。

【タテシナソン参加】八月五日〜九日

二年生が三泊四日で沖繩修学旅行へ行ってきました。七月には松代地下壕へ行くなど、事前学習を積み重ねての修学旅行となりました。沖繩では平和の礎・平和祈念資料館・ガマ・美ら海水族館・首里城などを見学し、二日目には民泊も体験しました。民泊では沖繩料理をいただいたり三線体験をさせてもらったりするなど沖繩ならではの体験をさせていただき、生徒達は満足と感激の表情を浮かべていました。

【修学旅行】十月十日〜十三日

活躍する  
蓼科高生

第五十三回ポプラ祭がテーマ「Colorful」の彩れ、青春。のもと行われました。コロナ禍の影響により一般公開は今年も見送りになりましたが、保護者向けには公開（各家庭二名まで）いたしました。展示や実演、販売、ステージ発表、それぞれのところで任せられた役割を意識してきびきびと動き躍動する生徒の姿が印象的でした。後夜祭ではミニ運動会、蓼科クイズ、ダンス、そして花火を行い、最後の文化祭実行委員長挨拶に感動しました。クラスの団結感、全校の一体感が高まった文化祭となりました。

【ポプラ祭】八月二十六日〜二十九日



地域コース三年生が、地域授業の一環として立科町の空き家問題に取り組んでいきます。地域振興や地域の課題解決策を考える一つとして、芦田宿の空き家をお借りし、「Tフェス」と銘打った交流イベントを開催しました。これはゲームコーナー・クラフトコーナー・駄菓子コーナー・カフェコーナーなどを用意した、子どもからお年寄りまで楽しむことができるイベントです。当日は近隣の皆様や懇談期間中の小学生がたくさん来場し、大いに盛り上がり楽しんでいただきました。企画から運営まで準備で大変な面もありましたが、探究学習の成果として貴重な体験となりました。

【Tフェス】十二月十三日